

BOOK TRAIN

ブックトレイン

千代田区図書館
読書振興センター
学校支援担当発行
冬の図書だより
中学生版
2013.12

中学生の皆さんにおすすめの本を紹介します。



『チョコレート・アンダーグラウンド』

アレックス・シアラー／著 かねはらみずひと 金原瑞人／訳 きゅうりょうどう 求竜堂



『もしその法律が悪いものなら、戦って正すべきじゃないか』

大人達のいい加減な選挙で勝利した健康健全党は、「チョコレート等の甘いものは、体に悪いから一切禁止する」という命令を出した。違反したら懲役刑だ。チョコレートを食べる、そんなささやかな人生の楽しみを奪われていいのだろうか？ ハントリーとスマッジャーは身の危険を感じながらも、チョコレートの密造と密売を始めるが…。

『ふたつの月の物語』

とみやすようこ 富安陽子／著 講談社



『沈んだ村に隠された秘密とは？ そしてふたつの月の運命は？』

名前に月の字を持つ、美月と月明。養護施設で育った美月と、育ての親が死んでしまった月明は、2人ともなぜか津田節子が探す養子の条件にぴったり。14年前にダムの中に沈んだ弓月村の近くにある、節子の住む別荘“湖月荘”に招かれたふたりは、村の秘密に次第に巻き込まれていく。

『袋鼠親爺の手練猫名簿』

T・Sエリオット／文
アクセル・シェフラー／画
やなぎのりこ 柳瀬尚紀／訳 評論社



『誇り高きお猫様を描いた、15篇の“猫”な詩』

“袋鼠親爺”こと、ノーベル賞を受賞した詩人T.S.エリオットによる、猫たちを描いた詩集。ミュージカル・キャッツの原作としても世界中で愛されており、初版から70年を記念して、新たな日本語訳に表情豊かなイラストを添えて刊行された。ウナーリトラやハコヤノモーセにプルプルン猫、個性的で愉快的な“お猫様”たちを唄う、猫好きにはたまらない1冊。

くらぶ
『少年少女飛行倶楽部』

加納朋子／著 文藝春秋



『究極的には、理想を
言えばピーター・パンの
飛行がベストである。』

中学1年生の海月が、幼なじみの樹絵里と入部した「飛行クラブ」は、人数が足りず、部活として認められていない。メンバーは、2年生のカミサマ部長こと神と、野球部と兼部している海星だけ。世話好きな海月は、新たな部員や顧問を探し、みんなで空を飛ぶ方法を考えていく。友情を軸に家族との関係や、恋愛模様を描いた青春小説。



『HOOT』（ホー）

カール・ハイアセン／著
千葉茂樹／訳 理論社

『小さな生き物を救うため、
少年はマングローブの林
からやって来た！』

転校生ロイはスクールバスから、走り続ける裸足の少年を目撃する。彼の様子はまるで野性児。誰なのか、なぜ走るのか？一方、パンケーキ店の建設予定地では、トイレにワニが入っていたりマムシが出没したりと、奇妙な事件が起きていた。事件がフロリダの自然を守ろうとしている少年の仕業だと気づいたロイは、彼を助けるため奔走する。

びよういん
『よるの美容院』

市川朔久子／作 講談社

『心を閉ざしたまゆ子
の髪に、やわらかな指先
が優しく通る』



友だちの事故のショックで声が出なくなったまゆ子は、実家を離れておばの美容院で暮らし始めた。定休日の前の晩に、おばにしてもらうシャンプーがとても心地よく、まゆ子の口からは自然に声もれた。毎日一緒に朝食を食べ、「声が出ないのは悪いことじゃない」と見守ってくれるおばとの暮らしの中で、まゆ子は少しずつ自分を取り戻していく…。

『モナミは世界を終わらせる？』

はやみねかおる／著 角川書店



『ユーモアとアイディアで立

ち向かう学園ミステリー。

『救世主は意外と身近に？』

学園生活を送るモナミの前に「命に代えてもモナミを守る」という謎の忍者、丸男が現れた。モナミの周囲で起こる事が、世界中の事件とシンクロしているからだという。最初は信じられなかったモナミだが、次々に起こる事件によってそれが証明されていく。なぜシンクロは起こるのだろう。そして丸男はモナミを守れるのか、モナミは世界を救えるのか？